

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市・みどり市観光推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	3-⑥	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				佐野市・みどり市観光推進協	款	7	新規or継続	新規事業
	係	観光推進係				議会参画事業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2121	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	R7	実施方法	直営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度			事業分類	参画事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							
	基本事業	1	新しい観光資源の開発と整備							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	林道作原沢入線を介してつながる、群馬県みどり市と協議会を創設し、相互の交流人口の増加及び地元経済の活性化を図る。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	群馬県みどり市と協議会を設置し、両市の観光誘客を促進させる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市の観光客入込数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	両市の観光PRにつながるポスター及びチラシを作製したとともに、みどり市の草木湖まつりに出展し、観光PRを行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		協議会の活動回数	回	-	-	-	1
		事業費計	千円	0	0	0	10
		一般財源	千円				10
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	観光PRの効果もあり、観光客入込数が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市の観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標		1指標	効果が下がった
	指標全体	効果が上がった		目標未設定	
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R7年度は協議会活動として、共通のチラシ・ポスターの作成を行った。今後はお互いの市のイベントに積極的に参加する、新たなイベントを開催する等活動を広げていく必要があると考える。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	林道作原沢入線展望台等整備事業	実施計画事業or一般事業		実施計画事業		市長公約	3-⑥	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	新規事業	
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2121	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							
	基本事業	1	新しい観光資源の開発と整備							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	観光資源として林道作原沢入線に展望台等を整備し新たな観光ルートを開発する。
------	---------------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	観光誘客の推進	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市の観光客入込数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	展望台設置予定地の地権者の同意を得て、詳細設計を完了した。設置工事については、年度末入札となり、R8年度への繰越事業とした。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		概略設計の進捗率	%	-	100	-	-
		実施設計の進捗率	%	-	-	0	100
		事業費計	千円	0	1,760	473	4,345
		一般財源	千円		1,760	473	4,345
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	展望台設置に向けた準備段階であるため、特段の成果はない。ただし、完成した際には観光客入込数の増加に貢献できるものと考え	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市の観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度に完了予定であった設置工事は令和8年度への繰越事業となった。工事完了後は維持管理を行うとともに、本施設を活用した観光客増につながるイベント等の実施を検討する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	観光資源開発推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	3-⑤	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計		事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款		新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2121	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目		義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H27	実施方法	直営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	1	新しい観光資源の開発と整備						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	本市に埋もれていて、まだ多くの人に知られていない観光資源の調査・発掘や、新たな観光ルートの開発によって、新たな観光資源として活用できるか調査研究を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	新たな資源開発の発掘・整備を行い、観光資源として整備し、観光誘客につなげる。	（3）目標値		↓選択して下さい	後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市の観光客入込数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	他事業と連携し、施設の修繕、改修等を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		調査した観光資源数	箇所	1	1	1	2
		開発・整備した観光資源数	箇所	2	7	4	0
		開発・整備した観光ルート	ルート	0	1	0	0
		事業費計	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	他事業で行う、施設の修繕、改修等を行うことで本事業の推進を図ることができる考える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市の観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・予算の無い事業であり、費用対効果を検討することは困難であるが、既存の他事業との統合の可能性はあるものとする。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・関連する、観光推進事業、観光施設改修事業等に組み入れることが可能であるとする。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	あきやま学寮等管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						
				佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	R5年度からの指定管理者不在のため、施設は休止している。今後の活用に向け民間提案制度を創設し、活用アイデアを募った。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設を活用し観光誘客の増につなげる。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市の観光入込客数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000
		市の観光客宿泊数	人	値が大きいほど良い	70,000	73,000	75,000	78,000	80,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	佐野市観光施設民間提案制度を制定し、民間活力による施設活用を図った。興味を示した事業者は数件いたが、実際の募集に対しての応募まで至る事業者はいなかった。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		民間提案制度への応募者数	者				0
		民間提案制度に対しての問合せ数	件				4
		事業費計	千円	13,277	12,008	8,782	7,372
		一般財源	千円	13,277	12,008	8,782	7,237
		特定財源（国・県・他）	千円				135
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	あきやま学寮を活用した観光事業は推進できなかった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		施設利用者数	人	1,178	1,142	0	0	効果が下がった	×
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定	
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

観光施設民間提案制度を制定し、あきやま学寮等の民間活力を使つての活用を図った。数件の問合せ、現地見学があったが、応募に至ることはなかった。今後は施設の廃止も視野に入れ、再度民間提案制度募集を行いたい。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 R8年度も民間提案制度の募集を行いたい。応募が無かった際には施設の廃止も検討したい。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	ためまふるさと館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課		ためまふるさと館維持管理事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市ためまふるさと館条例 佐野市ためまふるさと館条例	事業期間	開始年度	H8	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度	事業分類		施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理	施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	田沼地区を中心とした歴史、産業、芸術、文化、生涯学習の拠点施設として、地域産業の発展、教養文化の向上を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	展示会等を市民が利用することで文化的活動の促進と地域産業の周知を図るとともに、ためまふるさと館が安全に利用できるよう、適切な維持管理を行う。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		来館者数	人	値が大きいほど良い	4,901	5,000	5,000	5,000	5,000
		展示室利用団体	組	値が大きいほど良い	10	15	15	20	20

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	観光施設の紹介、遺跡出土品・伝統産業品・特産物の展示。 企画展等市民の発表の場を提供する。 山城サミットで使用した甲冑や資料を展示し、国指定史跡唐沢山 城跡のPRを実施。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		各種契約事務	件	3	3	3	3
		施設整備・修繕回数	回	3	3	2	0
		事業費計	千円	4,408	5,168	4,910	4,620
		一般財源	千円	3,387	4,210	3,875	3,457
		特定財源（国・県・他）	千円	1,021	958	1,035	1,163
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	利用団体は減少している。来館者数はR6とR7を比較すると増加した。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			来館者数	人	5,056	5,453	4,782	4,901	効果が下がった	○
			展示室利用団体	組	17	17	12	10	効果が下がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	2指標	効果	効果			
	目標未達成だった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		目標達成	達成		2指標
	効果は変わらない指標数	0指標			未達成		
	効果が下がった指標数	2指標					
	指標全体	効果が下がった					
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・例年と同様に施設の維持管理、貸館業務を行ったが、利用者数、利用団体とも減少しており、施設の今後の在り方を再検討する必要があると考える。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
施設の今後の方向性を踏まえ、施設の在り方の検討を進める必要がある。	

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課		万葉自然公園かたくりの里維持管理事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	4	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	市万葉自然公園かたくりの里維持管理事業		開始年度	H2	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	万葉自然公園かたくりの里の維持管理業務。（施設の管理、修繕、警備委託、消防設備保守点検委託、清掃等委託）
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	かたくりの里を適切に維持管理し、施設来訪者が増加する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		来場者数	人	値が大きいほど良い	32,000	32,000	32,000	33,000	33,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	万葉自然公園かたくりの里の維持管理 ・施設の管理、修繕 ・各種業務の委託（管理センター警備、消防設備保守点検、駐車場・群生地清掃業務等） ・業務委託先との連絡調整	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		修繕箇所	箇所	4	1	0	3
		市内観光客入込数	千人	6,430	7,134	7,402	7,481
		事業費計	千円	3,780	3,408	6,203	3,850
		一般財源	千円	3,780	3,408	3,042	0
		特定財源（国・県・他）	千円			3,161	3,850
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	来場者数が減少した。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			来場者数	人	22,316	26,222	26,960	25,142	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	0指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	1指標				
	効果が上がった指標数	0指標		達成		
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成		1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定		
	指標全体	効果が下がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

キツネノカミソリの繁殖により、かたくりの花が減少している。 また、敷地内のナラ等枯れている木が多く、強風による倒木、枝落ちの発生が多くなっていることへの対応が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☒ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 キツネノカミソリの繁殖対策や施設内の樹木の管理、フェンスの管理を適切に行うために、来訪者の受益者負担等による歳入の確保を検討したい。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	栃木県温泉保護協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備							
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県温泉保護開発協会に会員として負担金を支出し、協会主催の講習会への参加等により温泉専門分野の情報収取を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	温泉利用の促進と適正な温泉保護により、安全に利用できる施設を維持する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		佐野市温泉スタンド利用量	t	値が大きいほど良い	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 同協会への負担金の支出、講習会参加、負担金7千円 (栃木県温泉保護開発協会の活動) 会議、温泉講習会の開催や栃木の温泉PR冊子の発行、その他情報提供等を実施	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		温泉講習会の受講	回	1	1	1	1
		PR冊子への紹介記事掲載	回	1	1	1	1
		事業費計	千円	7	7	7	7
		一般財源	千円	7	7	7	7
		特定財源（国・県・他）	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	温泉利用量が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		佐野市温泉スタンド利用量	t	293	528	171	366	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

温泉スタンドのくみ上げ量が不安定である。また、温泉の温度が低下傾向にあり、温泉法上の基準を満たさなくなる可能性がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 温泉を安定的に汲み上げるための大規模工事の必要性を検討する。温泉法上の基準を満たさない場合の施設の在り方を検討。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	根古屋森林公園指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課		根古屋森林公園指定管理事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係		業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則		開始年度	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	根古屋森林公園の総合案内施設、キャンプ場、コテージ、根古屋亭、貸農園、飛駒和紙会館等の維持管理、運営を指定管理者に行わせる。市は適切な維持管理、運営が行われているか状況を把握し、管理・指導を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設や周辺の整備を行い、伝統文化である飛駒和紙をPRすることで利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		施設利用者数	人	値が大きいほど良い	2,900	2,900	3,000	3,000	3,000
		指定管理料を除く収入実額	千円	値が大きいほど良い	4,900	4,900	5,000	5,000	5,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	施設の利用促進と宿泊客の確保。貸農園の利用促進。和紙会館での伝統文化の周知など。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		修繕箇所数	件	2	3	0	2
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402	7,482
		市の観光客宿泊数	人	56,943	64,290	63,648	67,239
		事業費計	千円	14,315	13,593	13,940	13,853
		一般財源	千円	14,315	13,593	13,940	13,853
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	施設利用者は減少したが、売上額は増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		施設利用者数	人	1,578	1,868	1615	1401	効果が下がった	×
		指定管理料を除く収入実額	千円	5,037	5,682	5239	5342	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	1指標					
	効果が上がった指標数	1指標					
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果は変わらない	目標達成	達成	1指標		
				未達成		1指標	
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

管理者の高齢化がすすんでいる。また、後任人材が不足している。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 指名ではなく、公募による指定管理者選定とする等、指定管理者の在り方検討が必要。
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	温泉スタンド維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H13	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						
				佐野市温泉スタンド条例					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民や道の駅利用者等の観光客に温泉の提供を行う。また、保守管理や水質検査を業務委託により実施し、施設の適切管理を行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設を適切に維持管理し、市民や観光客に温泉を供給する。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		温泉利用量	t	値が大きいほど良い	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	機器の保守管理、温泉の水質検査の実施 一般給湯口での一般客への温泉提供及び隣接する「道の駅どまんなかたぬま」足湯での利用	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		保守点検回数	回	24	24	24	24
		水質検査回数	回	1	1	1	1
		施設等修繕回数	回	0	0	0	0
		事業費計	千円	1,452	1,459	1,549	1,642
		一般財源	千円	1,452	1,459	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円			1,549	1,642
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	温泉利用量が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		温泉利用量	t	293	528	171	366	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

温泉の汲みあげ量が不安定。また、温泉の温度が低下傾向にあり、温泉法上の基準を満たさなくなっているが、経過観察中である。現状のままだと長く続くようであれば、事業の在り方の検討が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 温泉でない状態が確定した際には、本事業は廃止となる。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	蓬山ログビレッジ指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課			款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則	開始年度	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	蓬山ログビレッジの総合案内施設、コテージ、よもぎの湯、フィッシングセンター、蓬山レストラン等の維持管理、運営を指定管理者に行わせる。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	施設や周辺の整備を行い、利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		施設利用者数	人	値が大きいほど良い	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		施設利用料	千円	値が大きいほど良い	10,250	10,250	10,250	10,250	10,250

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	コテージ運営による宿泊客の確保やよもぎの湯を中心とした日帰り客の誘致。蓬山レストランやフィッシングセンターによる誘客。 また施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保する。コテージエアコン等の修繕工事を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		施設整備、修繕箇所数	箇所	4	3	4	4
		市の入込観光客数	千人	6,429	7,134	7,402	7,482
		事業費計	千円	7,898	6,350	7,220	6,569
		一般財源	千円	7,898	6,350	7,220	6,569
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保し、施設の魅力をPRした。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		施設利用者数	人	13,646	14,521	15,145	11,665	効果が下がった	×
		施設利用料	千円	7,591	7,729	9,334	3,950	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	2指標				
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成		
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成		2指標
	効果が下がった指標数	2指標	目標未設定			
	指標全体	効果が下がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

蓬の湯休止や、施設の老朽に伴い利用者が減少している。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 今後、観光客のニーズに合った施設にしていくために、老朽化した設備、蓬の湯の修繕等を含め長期的に計画が必要である。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	蓬山ログビレッジ改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	R6	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度	R7	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						
				佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	老朽化したキューピクルの更新、大浴場の更新を行うとともに、WiFiを設置することで利用者が快適に施設を利用できるようにする。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	適切な施設改修により観光客の利便性を向上し、安全に利用できる施設とすることで、佐野市のイメージアップと観光客の増加につなげる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市内観光客入込数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	キューピクルの更新、蓬の湯の改修を実施、またWiFiの設置を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		改修工事箇所数	箇所	12	7	5	6
		市有観光施設数	箇所	14	14	12	9
		事業費計	千円			3,597	42,273
		一般財源	千円			3,597	42,273
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	施設の維持を行い、利用者の安全安心な施設利用を進めることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市内観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果は変わらない指標数	0指標	目標達成 未達成 目標未設定	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

計画どおり、工事を実施することができた。施設の老朽化が全体的に進んでいるため、今後も計画的に修繕を続けていく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	観光施設の公衆トイレ（かたくりの里トイレ、マンサクの花咲く道トイレ、唐沢山トイレ、須花坂公園トイレ、蓬萊山トイレ、宇津野洞窟駐車場トイレ、五丈の滝駐車場トイレ、犬伏新町薬師堂の仮設トイレ）、旧田沼高校北側藤棚、唐沢山県立自然公園、首都圏自然歩道（唐沢山）等の適切な維持管理を行う。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	観光施設、駐車場、休憩施設等に設置したトイレの管理を行うことで、快適に使用できるトイレを維持する。
-------------------------	---

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
市内観光客入込客数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	各トイレの浄化槽管理・清掃委託・施設改修 ・蓬萊山公衆トイレ修繕	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		清掃回数	回	300	300	300	300
		施設巡回回数	回	24	24	24	24
		管理する観光資源数	箇所	12	14	14	14
		事業費計	千円	3,538	4,116	3,843	3,942
		一般財源	千円	3,384	3,969	3,690	3,766
		特定財源（国・県・他）	千円	154	147	153	176
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	観光地に訪れた人に不快感なくトイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等を利用してもらったことから、入込客数の増に貢献できた。
------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
市内観光客入込客数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標
	目標未達成だった指標数	1指標
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
目標達成	達成	
	未達成	1指標
目標未設定		

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各施設老朽化がすすんでいるため、計画的に修繕を行う必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成）
- ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む）
- ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討
- ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討
- ☐ その他の検討
- ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	観光施設改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	観光推進課			款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わつまちづくり	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則	開始年度	H19	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	老朽化した観光施設の改修を適切に行うことで観光客の安全性及び利便性を図り、佐野市のイメージアップ及び観光誘客へと結びつける。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	適切な施設改修により観光客の利便性を向上し、安全に利用できる施設とすることで、佐野市のイメージアップと観光客の増加につなげる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		市内観光客入込数	千人	値が大きいほど良い	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	宇津野洞窟及び蓬山ログビレッジの展望台の撤去、蓬山ログビレッジの水上アスレチックの一部を撤去、国際クリケット場の桜の木の伐採、唐沢山遊歩道の改修及び三滝遊歩道の改修を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		改修工事箇所数	箇所	12	7	5	6
		市有観光施設数	箇所	14	14	12	9
		事業費計	千円	8,587	11,666	4,283	5,687
		一般財源	千円	2,970	5,642	3,004	4,511
		特定財源（国・県・他）	千円	5,617	6,024	1,279	1,176
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	適切に修繕、工事を実施すること施設の維持を行い、利用者の安全安心な施設利用を進めることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		市内観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・老朽化して危険であると思われる箇所、修繕が必要である箇所の修繕を行うことができた。 ・施設の老朽化が全体的に進んでいるため、計画的に修繕を続けていく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	観光物産会館指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	5	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H20	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						
				佐野市観光物産会館条例 佐野市観光物産会館条例 施行規則					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市観光物産会館において、観光情報の提供や地場産品の展示販売の健全かつ運営効率向上を図るため、観光や物産の振興を特定目的とする佐野市観光協会を指名し、指定管理者として運営を委託する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	観光客等に佐野市観光物産会館の存在を知ってもらい、物品を購入してもらうとともに、安全に施設を利用できるよう維持管理を行う。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		観光物産会館来館者数	人	値が大きいほど良い	368,000	370,000	372,000	374,000	376,000
		観光物産会館売上額	千円	値が大きいほど良い	200,000	240,000	250,000	260,000	270,000

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	佐野市観光物産会館の管理運営の委託（令和6年度～令和8年度）	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		管理委託料	円	2,100	2,100	1,575	1,575
		指定管理者との打合せ回数	回	12	12	12	10
		事業費計	千円	8,020	2,857	1,589	1,591
		一般財源	千円	8,020	2,857	1,589	1,591
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	来館者数及び売上額ともに増加となっているが、来館者数についてはコロナ禍以後の伸びが鈍化しており、目標は未達成だった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		観光物産会館来館者数	人	246,802	282,775	304,881	329,080	効果が上がった	×
		観光物産会館売上額	千円	144,167	165,981	183,196	208,588	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果			
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	目標達成	達成	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定			
	指標全体	効果が上がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

光熱費及び人件費の高騰により固定費が増加している。事業の取捨選択による人件費の削減や、イベント・キャンペーン企画等により売上を向上させる必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課				道	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例	事業期間	開始年度	H20	実施方法	指定管理者	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例	終了年度		事業分類	施設維持管理事業		
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例施行規則						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	道の駅として、道路利用者への情報、休憩施設の提供及び情報発信、地域間の交流及び市の産業振興を図る。また、道の駅どまんなかたぬまの維持管理を（株）どまんなかたぬまを指定管理者として実施する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	道の駅の利用者に飲食物、お土産品等の販売、トイレ等サービス、情報提供を行うとともに、農産物直売やレストラン運営などを行い、来場者の利用を促進し、利用者の増加を図る。また、施設が安全に利用できるよう維持管理を行う。	（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画			
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		来場者数	千人	値が大きいほど良い	2,190	2,200	2,250	2,100	2,150
		売上額	百万円	値が大きいほど良い	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	指定管理者(株)どまんなかたぬまによる、道の駅の運営管理を実施。道の駅を利用する観光客への観光情報発信。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		開館日数	日	316	317	315	316
		市民数	人	115,700	114,695	113,498	112,515
		関東地方1都6県の人口	千人	43,535	47,420	43,538	43,573
		事業費計	千円	50	53	0	3,219
		一般財源	千円	50	53	0	2,992
		特定財源（国・県・他）	千円				227
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	来場者数は減少したが、売上額は増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		来場者数	千人	1,906	1,963	1,960	1,949	効果が上がった	×
		売上額	百万円	1,514	1,832	1,757	1,798	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	2指標
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理者との継続的な連携体制の構築。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	道の駅どまんなかたぬま空調設備等改修事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	観光推進課				道	款	7	新規or継続	新規事業
	係	観光推進係				管理事業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例	事業期間	開始年度	R7	実施方法	一部委託	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	ま条例	終了年度	R8	事業分類	施設等整備事業		
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例施行規則						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	来訪客が快適に施設を利用できるよう、老朽化が進み効率の低下がみられる道の駅どまんなかたぬまのふれあい交流館の空調を改修する。R7年度に設計、R8年度に改修工事を行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	R7年度にふれあい交流館の空調設備を更新するための実施設計を行い、R8年度に空調設備改修工事を実施する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		詳細設計を完成させる	式	値が大きいほど良い	1				
		空調改修工事を完成させる	式	値が大きいほど良い		1			

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	ふれあい交流館の空調設備を更新のための実施設計を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		実施設計進捗率	%	-	-	-	100
		事業費計	千円	0	0	0	1,727
		一般財源	千円				0
		特定財源（国・県・他）	千円				1,727
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	道の駅どまんなかたぬまの空調機器を更新することで、来訪者が快適に施設を利用できるようにする目的を進める事ができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		詳細設計を完成させる	式				1	効果が上がった	○
		空調改修工事を完成させる	式						

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定	
	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R7年度に実施した詳細設計を完了することができた。R8年度実施の空調機器更新はコストを検討し、電力を動力源とすることで費用対効果の向上を進めている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	須花坂公園維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課		須花坂公園維持管理事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H6	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	須花坂公園及び周辺の遊歩道の維持管理を行う。
------	------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施設を適切に管理することで来場者の増加及び売上の増加を図り、安全な施設の維持を行う。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		須花坂公園売上額	千円	値が大きいほど良い	17,269	18,000	18,000	18,000	18,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	須花坂公園及び周辺の遊歩道及び公衆トイレの維持管理	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		業務委託数	件	3	3	3	3
		修繕件数	件	1	0	0	1
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402	7,481
		事業費計	千円	973	974	1,418	1,386
		一般財源	千円	523	648	926	596
		特定財源（国・県・他）	千円	450	326	492	790
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	須花坂公園の売上額が増加した。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			須花坂公園売上額	千円	13,736	16,361	17,237	17,269	効果が上がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	0指標		1指標		
	効果が上がった指標数	1指標		達成	未達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		目標未設定		
	効果が下がった指標数	0指標				
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

下彦間むらづくり推進協議会の高齢化による人手不足

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	体験型観光企画調整事業	実施計画事業or一般事業		実施計画事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計		事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課				款		新規or継続	継続事業
	係	観光推進係				項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2123	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目		義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H26	実施方法	直営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備						
	基本事業	3	宿泊、体験型観光の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	体験型観光を展開している施設管理者が、関連する情報を収集・共有し施設間の連携を推進するための企画調整会議を開催、そこで個々のメニューの見直し、磨き上げ、新しい企画等を協議する場を設ける。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	体験メニューの充実を図り、市内宿泊者数、来訪者数を増加させる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		体験型宿泊施設の利用者数	人	値が大きいほど良い	25500	26000	26500	27000	27500
		体験額宿泊施設の宿泊者数	人	値が大きいほど良い	9300	9400	9500	9600	9700

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	根古屋森林公園及び蓬山ログビレッジで月1回の月例報告を行った。また、あきやま学寮の活用のため、観光施設民間提案制度を導入したが、応募者はなく活用には至らなかった。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		各施設との協議回数	回	24	36	24	24
		体験メニュー数	個	41	33	16	16
		事業費計	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	R6年度から、あきやま学寮が休止となり利用者数及び宿泊者数が大幅に減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		体験型宿泊施設の利用者数	人	15,250	17,153	16,432	12,855	効果が下がった	×
		体験額宿泊施設の宿泊者数	人	2,879	4,019	2,897	2,305	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	2指標
	効果が下がった指標数	2指標	目標未設定		
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・あきやま学寮が休止となったことで、施設の宿泊者数、利用者数は大きく減となった。 ・他の施設でも利用者数、宿泊者数は減少となっているため、施設運営の在り方の検討が必要であると思われる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table><tr><th>取組説明</th></tr><tr><td> ・あきやま学寮が休止となり、新たに民間提案制度を導入して今後の事業の進め方は変化する。 ・蓬山ログビレッジ、根古屋森林公園についても利用者、宿泊者数が減少しているので今後の事業継続の在り方を検討する必要があると考える。 </td></tr></table>	取組説明	・あきやま学寮が休止となり、新たに民間提案制度を導入して今後の事業の進め方は変化する。 ・蓬山ログビレッジ、根古屋森林公園についても利用者、宿泊者数が減少しているので今後の事業継続の在り方を検討する必要があると考える。
取組説明			
・あきやま学寮が休止となり、新たに民間提案制度を導入して今後の事業の進め方は変化する。 ・蓬山ログビレッジ、根古屋森林公園についても利用者、宿泊者数が減少しているので今後の事業継続の在り方を検討する必要があると考える。			